

.....編集後記.....

◆今月号の特集は地質調査所の情報化に焦点を絞り、その代表例として新たに始まった数値地質図シリーズの紹介です。もっとも実用的な記録媒体であるCD-ROMによる地質情報の普及は今後当所の情報化の柱となるものの1つでしょう。一層の利用が望まれるところです。

◆海洋地質分野からは21世紀の期待される鉱物資源である海底マンガン鉱床の研究の概観です。地球化学分野からは分析地球化学の1手法の紹介です。やや説明が難しい面もありますがじっくりとお読みください。環境分野からはバンコクの海岸侵食についての報告です。社会経済の発展と自然環境との調和は常に心していなければならない問題です。

◆日米の地質調査所でも大小さまざまな改革のうねりが起きています。日本の地質調査所においては特別研究室ほかの新設、米国地質調査所におけるリストラの嵐などニュース記事をご覧ください。

(加藤碩一 記)

.....

原稿募集中!

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり10ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行23字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ(スライド)を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズ(表紙は六切)のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地質ニュース編集委員会

委員長: 加藤碩一

副委員長: 佐藤興平

幹事: 宮崎光旗・奥村公男・石井武政

委員: 今井 登・岡村行信・杉原光彦・野田徹郎・

吉井守正・豊 遙秋・佐藤岱生

顧問: 林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局: 総務部業務課広報係 (山崎 浩・清水真寿美)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュース 第493号 1995年9月号  
定価 ¥770 千実費

1995年9月1日 発行

編集

発行人

発行所

印刷

工業技術院地質調査所  
株式会社実業公報社  
代表者 林 光生  
株式会社実業公報社  
東京都千代田区九段北1の7の8  
Tel. (03)3265-0951 (代表) 〒102  
振替口座 00110-6-32466  
麹町局私書箱第21号  
小宮山印刷工業株式会社

©1995 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ